

のり養殖通報第14報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議 平成30年3月15日発行

[気象]気温は周期的に変動

- 気温は2月末までは平年並みで経過し、3月以降は平年を大きく上回る日が増えている(図1)。
- 3月に入ると周期的にまとまった降雨があり3月上旬の降水量は128mmに達した(平年30mm千葉气象台)
- 気象予報によると、今後は数日おきに寒暖を繰り返し気温は平年を上回る日が多いと予想されている。

[海況]栄養塩は内湾でリンがやや減少、水温は前年より低め

- 3月12日の観測では、表層水温は内湾が10~11℃台、内房は11℃台。植物プランクトンは小型の珪藻類が優占種で、透明度は先月の調査時より回復した。まとまった降雨の影響で表層の塩分はやや低下し、窒素は全域で十分な量が含まれているが、リンは盤洲周辺の数値がやや低く、色落ちが心配される値である(表1)。
- 新富津のり漁場における観測値では、水温は気温の上昇に伴い3月6日には13℃台に上昇したが、11日には11℃台に低下し現在は概ね前年より1℃程度低い11~12℃台で推移している(図2)。

[今後の留意点]

- 全国的には色調低下が進み終漁が近づいていますが、本県では栄養塩減少は軽微で、他産地と比較して色調の優れた製品の生産が続いています。計画的な網管理で漁期終盤の生産ピーク形成を目指してください。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。
 次回は3月22日頃発行します。

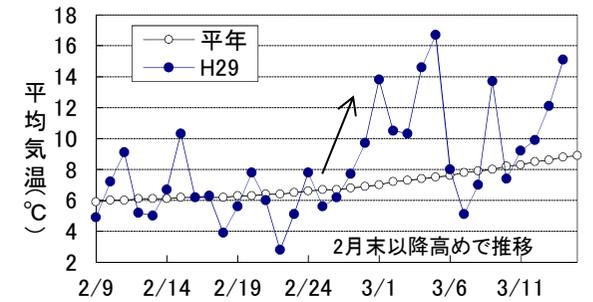


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

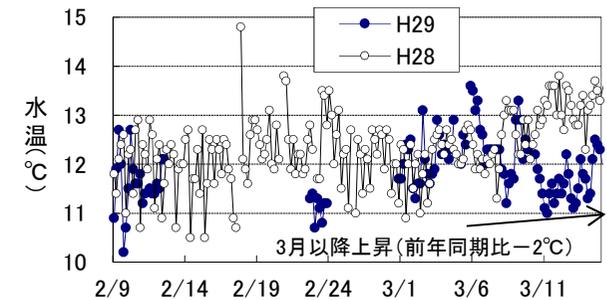


図2 昨年度と今年度の水温の比較(新富津観測ブイ)

表1 水質観測結果(3/12)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	10.8	30.7	8.3	4.5	430	14
盤洲Cブイ	11.6	30.5	8.4	4.8	383	4
盤洲Bブイ	11.4	30.8	8.4	4.5	360	3
盤洲Aブイ	11.8	31.2	8.4	5.2	347	5
富津ベタ	10.9	30.9	8.3	4.5	394	7
2海ほ下	11.4	30.7		4.0	353	8
大貫沖	11.1	31.0		4.0	398	8

*溶存無機態窒素(μg/l)、**リン酸態リン(μg/l)

※高色調のノリの生産に必要なレベル 窒素110 リン8

ノリの色調の保持や健全な生育に必要なレベル 窒素90 リン5